

令和 6 年 9 月 27 日 公表

令和 5 年度野生鳥獣資源利用実態調査結果

— ジビエ利用量は 2,729 t で、前年度に比べ 30.9% 増加 —

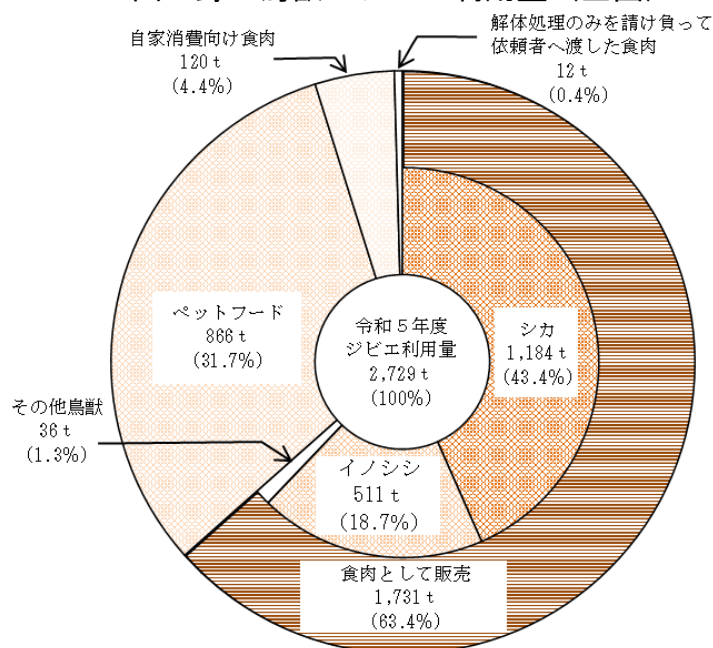
【調査結果の概要】

1 野生鳥獣のジビエ利用量

食肉処理施設が令和 5 年度に処理した野生鳥獣のジビエ利用量は 2,729 t で、前年度に比べ 30.9% 増加した。

このうち、食肉として販売した数量は 1,731 t で、前年度に比べ 30.0% 増加した。鳥獣種別にみると、シカが 1,184 t で 35.9% 増加、イノシシが 511 t で 15.6% 増加した。

図 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）



注： 構成割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表 1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）

単位：t

区 分	合 計	食 肉 処 理 施 設 が 販 売						解体処理の みを請け負っ て依頼者へ 渡した食肉	自 家 消 費 向 け 食 肉
		計	食 肉				ペ ッ ト フ ード		
			小 計	イ ノ シ シ	シ カ	その他鳥獣			
令和 4 年度	2,085	1,996	1,332	442	871	19	664	6	83
5	2,729	2,597	1,731	511	1,184	36	866	12	120
対前年度比 (%)	130.9	130.1	130.0	115.6	135.9	189.5	130.4	200.0	144.6
構成割合 (%)									
令和 4 年度	100.0	95.7	63.9	21.2	41.8	0.9	31.8	0.3	4.0
5	100.0	95.2	63.4	18.7	43.4	1.3	31.7	0.4	4.4

○ 本調査における食肉処理施設とは、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）に基づき、食肉処理業の許可を有する食肉処理施設のうち、野生鳥獣の食肉処理を行っている全ての食肉処理施設である。

2 野生鳥獣の解体頭・羽数

食肉処理施設が処理した野生鳥獣の解体頭・羽数は18万2,627頭・羽で、前年度に比べ15.6%増加した。

鳥獣種別にみると、イノシシが3万9,918頭で10.6%増加、シカが12万1,117頭で11.2%増加した。

表2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

区 分	計	イノシシ	シ カ	そ の 他 鳥 獣			
				小 計	ク マ	鳥 類	そ の 他
	頭・羽	頭	頭	頭・羽	頭	羽	頭・羽
令和4年度	157,985	36,087	108,892	13,006	239	11,365	1,402
5	182,627	39,918	121,117	21,592	664	18,718	2,210
対前年度比（%）	115.6	110.6	111.2	166.0	277.8	164.7	157.6
構成割合（%）							
令和4年度	100.0	22.8	68.9	8.2	0.2	7.2	0.9
5	100.0	21.9	66.3	11.8	0.4	10.2	1.2

3 野生鳥獣を処理して得た金額

食肉処理施設で野生鳥獣を処理して得た金額は54億500万円で、前年度に比べ32.6%増加した。

このうち、食肉の販売金額は44億400万円で、前年度に比べ28.9%増加した。鳥獣種別にみると、イノシシが16億4,400万円で15.1%増加、シカが25億7,100万円で36.3%増加した。

表3 野生鳥獣を処理して得た金額（全国）

単位：100万円

区 分	合 計	販 売 金 額										解 体 処 理 の 請 負 料 金
		計	食 肉				食 肉 以 外					
			小 計	イノシシ	シ カ	その他 鳥 獣	小 計	ペ ッ ト フ ード	皮 革	鹿角製品 (鹿茸等)	そ の 他	
令和4年度	4,075	4,066	3,416	1,428	1,886	102	650	627	8	4	11	9
5	5,405	5,399	4,404	1,644	2,571	189	995	888	14	90	3	6
対前年度比(%)	132.6	132.8	128.9	115.1	136.3	185.3	153.1	141.6	175.0	2,250.0	27.3	66.7
構成割合(%)												
令和4年度	100.0	99.8	83.8	35.0	46.3	2.5	16.0	15.4	0.2	0.1	0.3	0.2
5	100.0	99.9	81.5	30.4	47.6	3.5	18.4	16.4	0.3	1.7	0.1	0.1

単位：100万円

◎ 累年データ

ジビエ利用量、解体頭・羽数及び野生鳥獣を処理して得た金額の推移（全国）

区 分	ジビエ利用量	解体頭・羽数	野生鳥獣を 処理して得た金額
	t	頭・羽	100万円
令和元年度	2,008	122,203	3,769
2	1,810	134,270	3,497
3	2,127	144,896	3,937
4	2,085	157,985	4,075
5	2,729	182,627	5,405

資料：農林水産省統計部『野生鳥獣資源利用実態調査』

◎ 関連データ

狩猟及び有害捕獲等によるイノシシ、シカの捕獲頭数の推移（全国）

単位：頭			
区 分	計	イノシシ	シカ
令和元年度	1,243,500	640,600	602,900
2	1,353,700	678,900	674,800
3	1,253,600	528,600	725,000
4	1,306,900	590,100	716,800
5	1,244,700	522,000	722,700

資料：環境省調べ（速報値）。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040205740&ext=xls>

【調査の概要】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/jibie/gaiyou/>

【調査結果の主な利活用】

- ・ 農林水産業・地域の活力創造プランに基づくジビエ利用拡大の目標（ジビエ利用量を令和元年度から令和7年度に倍増）に向けた毎年度の進捗を継続して的確に捉え、進捗を踏まえた毎年度の各種施策を講ずるための資料
- ・ 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき講ずることとされている措置の具体的な取組を検討するための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「その他（食料需給表、産業連関表、食品産業、環境など）」の「農道・資源・環境」の「野生鳥獣資源利用実態調査」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/jibie/#y>
- ・ 本資料の詳細な数値はホームページに掲載（令和6年12月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

ジビエ利用拡大コーナー：農林水産省＞組織別から探す＞農村振興局
＞ジビエ利用拡大コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/>

鳥獣被害対策コーナー：農林水産省＞組織別から探す＞農村振興局
＞鳥獣被害対策コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課消費統計室 価格・消費動向班

電話：（代表） 03-3502-8111 内線 3718

（直通） 03-6744-2049

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表） 03-3502-8111 内線 3589

（直通） 03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を下記の期間に実施します。
令和6年12月中旬～令和7年 2月末 農林業経営体調査
令和7年 1月中旬～令和7年 2月末 農山村地域調査（市区町村調査）
令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査（農業集落調査）

